



⑥創成川の吐口工

①開拓使工業局跡

創成川公園
アンダーパス連続化に伴って、
2011年(平成23年)に完成
しました。

③開拓使の本陣跡

⑤二条市場

⑥創成川の分水施設

胆振川の名残④

水路の形を残す「千両小路」⑧

⑦街区にあわせてできた河道

コイの越冬池⑨

水天宮裏の道⑩

⑫中島橋

⑬豊平館

不老松⑭

⑮鴨々川の吐口工

競馬場の仮橋跡(白鶴橋付近)⑯

車に注意!

ひっそりたたずむ祠

⑮鴨々川の分水施設

⑱創成川樋門

中島公園
豊平川の分流のひとつである鴨々川の中州につくられた公園。
明治初期の鴨々川の「鴨々中島」にあった開拓使の貯木場を池として、1887年(明治20年)に「中島遊園地」が造成。1907年(明治40年)から「中島公園」に改称。現在の菖蒲池は貯木場の名残です。

旧河川跡
旧河川跡は調査期間や時期の違いにより2通り載せていますが、いずれも航空写真による識別観察や地表に残されている溝状のかすかな凹地を調査し、まとめた資料を基にしています。
産総研 地質調査総合センター 『札幌及び周辺部地盤地質図』(1991年(平成3年))
追総研 エネルギー・環境・地質研究所 『北海道地盤地質図』No.1 (1974年(昭和49年))

※マップ中の旧河川は1800年代初頭まで存在し、それ以降は豊平川に流れが切り替わったことによって河川跡として地表に残されたものです。

胆振川
※胆振川については、裏面の「創成川 いまむかし」をご覧ください。

まちあるき上級者の視点
旧河川の跡は今もまちなかに残っています。土地の高低差に注目して観察してみましょう。

◎の地形を ← の方向から見てみよう

明治時代の札幌市街には、幾筋もの川が流れ、アイヌ語で「ムム」と呼ばれる湧き水があちこちで見られました。都市化に伴ってそのほとんどは姿を消しましたが、その痕跡は今も土地の高低差(微地形)から読み取ることができます。

2019年(令和元年)9月頃の基図を使用しています。